

映画分野の人材育成事業

「タレンツ・トーキョー 2015」取材のご案内

先にご案内のとおり、映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2015」を平成27年11月23日（月・祝）から11月28日（土）（国際映画祭・東京フィルメックス期間中）まで開催いたします。

つきましては、会期中11月26日（木）にオープン・キャンパスを実施しますので、皆様のご来場を賜りたく、別紙のとおりご案内申し上げます。

なお、ご来場の際には、別紙1「タレンツ・トーキョー2015 オープン・キャンパス取材のご案内」をご参照の上、別添「取材申込票」にて事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

記

【タレンツ・トーキョー2015 オープン・キャンパス概要】

■公開プログラム（詳細は別紙1をご覧ください。）

- 11月26日(木) 13:00-14:00 公開講義「ワールド・セールスの役割と海外展開について」(仮)
- 11月26日(木) 14:30-17:30 公開プレゼンテーション

■会場

有楽町朝日ホール・スクエアB（有楽町マリオン11階）

■講師（プロフィールは別紙3をご覧ください。）

パク・キョン(映画監督)
ステファン・ホル(プロデューサー)
エミリー・ジョルジュ(ワールド・セールス)
クリスティーネ・トロストルム(ベルリナーレ・タレンツ プロジェクト・マネージャー) ほか



■参加者

15名（参加者一覧は別紙4をご覧ください。）

<タレンツ・トーキョー 2015に関する問い合わせ先>

タレンツ・トーキョー実行委員会事務局（HP：<http://talents-tokyo.jp>）
TEL：03-3560-6393 FAX：03-3586-0201 Email：talents@talents-tokyo.jp



「東京都長期ビジョン」事業

本件は、「東京都長期ビジョン」における、以下の都市戦略・政策指針に係る事業です。

都市戦略3 「日本人のこころと東京の魅力の発信」

政策指針8 「芸術文化都市を創造し、日本文化の魅力を世界に発信」

問い合わせ先

生活文化局文化振興部企画調整課 山本・伊東 電話 03-5388-3155 内線 29-414
公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京 森・浅野 電話 03-6256-8432

【タレント・トーキョー 2015 オープン・キャンパス取材のご案内】

1 公開プログラム

11月26日（木曜日）オープン・キャンパスデー【日本語同時通訳あり】**13:00～14:00 公開講義「ワールド・セールスの役割と海外展開について」(仮)**

講 師：エミリー・ジョルジュ

14:30～17:30 公開プレゼンテーション参加者が自身の企画をプロデューサーや配給会社に対して
プレゼンテーションを行う。

※ 著作権保護のため、動画撮影はご遠慮ください。

※ 両プログラムとも**有楽町朝日ホール・スクエアB**（有楽町マリオン11階）で実施します。（別紙2「会場案内」をご覧ください。）

2 取材申込方法

取材を希望される場合は、**平成27年11月19日（木曜日）17時**までに、別添「取材申込票」によりFAXにて生活文化局文化振興部（FAX:03-5388-1327）へお申し込みください。

3 取材受付

(1) 受付時間

各プログラムとも開始予定時刻の15分前から受付を開始いたしますので、お申し込みプログラム開始の5分前までに受付を済ませてください。お申し込みをいただいても時間までにご来場されない場合、お席の準備ができないことがありますので、予めご了承ください。

(2) 受付場所等

会場入口のプレス受付にて、取材申込票もしくはお名刺をご提示の上、貴社名・人数をお知らせください。「プレスパス」をお渡しいたします。

4 取材ポイント

プレス席をご用意しておりますので、取材はプレス席よりお願いいたします。（指定場所以外での取材及び講師・参加者への個別取材はご遠慮ください。）

5 撮影について

(1) 本事業にて撮影した映像・写真を、番組制作など報道以外でご使用の場合は、必ず事前にご相談ください。

(2) **11月26日（木）14:30～17:30「公開プレゼンテーション」については、ビデオ撮影は禁止とさせていただきます。**また、発表中のスクリーン映像については、ビデオ撮影に加えて写真撮影も禁止とさせていただきます。ご迷惑をおかけしますが、著作権保護及び円滑なプログラム進行のため、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

6 留意事項

- (1) 取材にあたっては、自社腕章及び受付でお渡しする「プレスパス」を着用してください。
- (2) 会場の都合上、プレス席、プレスエリアが手狭となっております。各社譲り合いのご協力をお願いいたします。
- (3) プログラム実施中の出入りは固くお断りいたします。また、会場内では、係員の指示に従ってください。
- (4) 取材に必要な電源は、各社にてご用意ください。
- (5) やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございます。

【タレンツ・トーキョー2015 開催概要】

名 称：タレンツ・トーキョー2015

期 日：平成27年11月23日(月・祝)から11月28日(土)まで

※「第16回東京フィルメックス」期間中の6日間

会 場：有楽町朝日ホール他

対 象 者：映画監督、プロデューサーを目指す若者15名

募集地域：東アジア、東南アジア

主 催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、
国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）

提 携：ベルリン国際映画祭（ベルリナーレ・タレンツ）

協 力：東京ドイツ文化センター

■タレンツ・トーキョー

映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能(=Talent、タレント)」を育成することを目的に、映画監督やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に集めて実施しています。現在世界で活躍するプロフェッショナルを講師陣として迎え、講義やプレゼンテーションを通じて第一線の人材の視線に晒されることにより、タレントに強烈なインスパイアを受ける体験を促すとともに、タレント同士やエキスパートとタレント、さらには映画祭「東京フィルメックス」に集まる映画監督たちとの交流により、国際的なネットワークを新たに築くことを目指しています。

■東京フィルメックス

アジア及び世界各国からの秀作を紹介することを目的とした国際映画祭で、平成12年より毎年開催しています。日本を含むアジアの新進作家によるコンペティション部門、世界の最先端を切り拓く映画作家たちによる特別招待作品部門、映画史に輝く珠玉の旧作を再検証する特集上映部門などがあります。

新作、旧作を問わず、初めて日本の観客に紹介された多くの海外の映画作家や、東京フィルメックスをきっかけに世界へ発信された多数のアジア・日本映画などの実績により、プロフェッショナルや映画ファンからの高い評価を集めています。



**有楽町朝日ホール
スクエア
ギャラリー**
(マリオン11階) (Tel.03-3284-0131)
(Fax.03-3213-4386)

有楽町マリオン

〒100-0005

東京都千代田区有楽町二丁目5番1号

●JR線

有楽町駅より徒歩1~2分(中央口、銀座口)

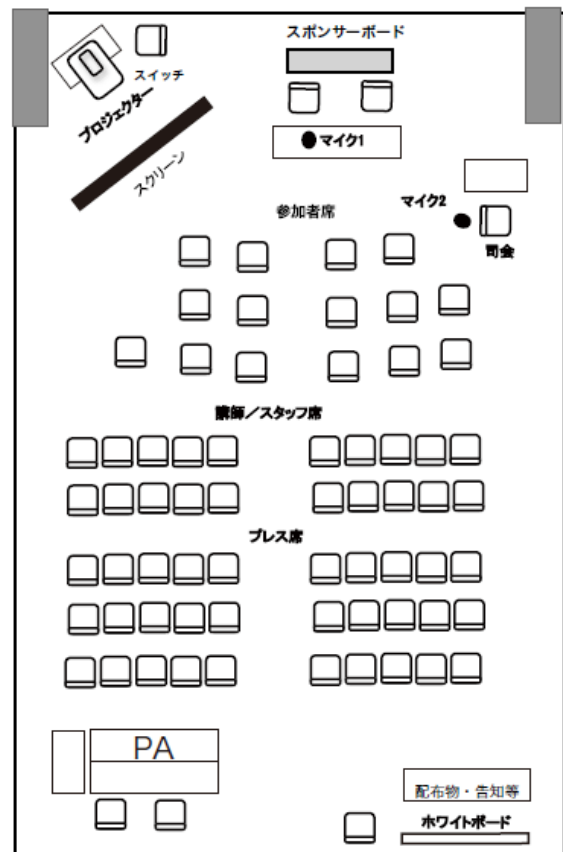
●地下鉄

日比谷線、丸の内線、銀座線：銀座駅より
徒歩1~2分(C4出口)

有楽町線：有楽町駅より徒歩1~2分
(D7出口)

**有楽町朝日ホール・スクエアB
(有楽町マリオン 11 階)内 見取り図**

スクエア B



プレス受付

パク・キヨン（映画監督）

1961年、韓国生まれ。1987年、韓国国立映画アカデミーを卒業後、すぐに映画監督・プロデューサーとしてのキャリアをスタートさせる。ソウルオリンピックの公式ドキュメンタリーなど、数々の作品にかかわった後、『あの島へ行きたい』（1993年 パク・クァンス監督）をプロデュース。イギリスのチャンネル4との合作になるシリーズの韓国編、『シッキム Cinema on the Road』（1995年 チャン・ソヌ監督）や、『チャン・ソヌ変奏曲』（2000年 トニー・レインズ監督）などをプロデュース。監督として手がけた作品には1997年『モーテルカクタス』や2001年『ラクダ（たち）』などがあり、特に『ラクダ（たち）』は第16回フリブール国際映画祭でグランプリとシナリオ賞を受賞、世界各国の国際映画祭に出品され話題となる。韓国国立映画アカデミーの学院長を9年務め、その間長編映画とアニメーションの制作プログラムを開始、当初は賛否が分かれたものの、大きな成功を収め、同校を世界的レベルの映画学校へと押し上げる。新たな人材育成にも力を入れており、釜山国際映画祭と共同でアジアフィルムアカデミーを立ち上げる。アカデミーでは3週間の映画制作ワークショップを行い、アジアの主要な映画人材育成プログラムに成長する。2007年にはアジアの新鋭映画製作者のさらなる発掘と支援を目指し、シネマデジタルソウル映画祭（CinDi）を創設、わずか数年あまりでデジタル映画やアジアの新たな才能を紹介する重要なプラットフォームの一つとなる。2012年より檀国大学校専門大学院映画コンテンツ研究科教授として教鞭を執る。

ステファン・ホル（プロデューサー）

1996年、ドイツでアジア映画の配給会社「ラピッド・アイ・ムービーズ」を設立、映画配給やプロデュース、音楽など、手がける分野は多岐に渡り、活動範囲も世界へと広がっている。主に扱う作品はインド映画を含むアジア映画や、世界中の傑出した作品たち。ここ数年は一般的な劇場映画から、芸術的水準の高い映画を取り扱うよう積極的に取り組んでいる。彼は押井守、北野武、三池崇史などの日本人監督の映画や、パク・チャヌク、キム・ギドク監督などの名立たるアジアの映画監督やインド映画をヨーロッパに広めた、ヨーロッパを活動拠点とする数少ない貴重なプロデューサー。近年の配給作品に、『罪の手ざわり』（ジャ・ジャンクー監督）、『Cemetery of Splendour（英題）』（アピチャップン・ウィーラセタクン監督）、『ザ・ドライブ』（ミロスラヴ・スラボシュピツキ監督）、『ハッピー・ニュー・イヤー』（ファラー・カーン監督）など。また最近、映画に関わる音楽や美術にも注目しており、近年手がけたものでは、『シュガーマン 奇跡に愛された男』（マリク・ベンジェール監督）や『ニック・ケイヴ 20,000 デイズ・オン・アース』（ジェーン・ポラード、イエイン・フォーサイス監督）など。

エミリー・ジョルジュ(ワールド・セールス「メメント・フィルムズ・インターナショナル」マネージング・ディレクター)

2003年、映画配給と制作を行う「メメント・フィルムズ・インターナショナル」を設立。同社では自らマネージング・ディレクターを務め、国際的に評価の高い監督たちによるアート映画を送り出し、支援してきた。これまで手がけた作品には2006年ベネツィア国際映画祭グランプリを受賞した『長江哀歌』(ジャ・ジャンクー監督)、2008年カンヌ国際映画祭でパルムドールを受賞した『パリ20区、僕たちのクラス』(ローラン・カンテ監督)、2011年ベルリン国際映画祭で金熊賞、銀熊賞を受賞し、2012年アカデミー外国語映画賞受賞などにより注目を浴びたイラン映画『別離』(アスガー・ファルハディ監督)、2014年カンヌ国際映画祭パルムドール受賞作『冬の轍』(ヌリ・ビルゲ・ジェイラン監督)などがある。

ジョルジュは「Next Masters Tokyo」として開催した2010年の本事業の第1回目に講師として参加。そのとき参加者だったアンソニー・チェンと出会い、チェンの『イロイロ ぬくもりの記憶』の企画に助言した。そして後に完成作をジョルジュ本人がワールド・セールスを手掛けることになり、カンヌ映画祭監督週間でプレミア上映後、最終日にはカメラ・ドールを受賞した。

また、2009年よりフランスのセールス・エージェント協会、ADEFの共同協会長を務めており、自身の制作会社「シネファクチュール」において、プロデュース活動も行っている。さきごろ、芸術文化勲章シュヴァリエを授与された。

また、ベルリン国際映画祭(ベルリナーレ・タレント)より、**クリスティーネ・トロストルム**(プロジェクト・マネージャー)も参加いたします。

参加者一覧（15名） ※（国籍／居住国）

別紙4

Alyx Ayn ARUMPAC（フィリピン）

Somchanrith CHAP（カンボジア）

Thanh HOANG（ベトナム／米国）

HSIEH Chun-yi（台湾）

KIM Josh（米国／韓国）

LAU Kek Huat（マレーシア／台湾）

LEE Joo Hyun（韓国）

LIN Jianjie（中国）

Dwi Sujanti NUGRAHANI（インドネシア）

ODA Kaori（日本／ボスニア・ヘルツェゴビナ）

Mauricio OSAKI（ブラジル／中国）

Sorayos PRAPAPAN（タイ）

Francis Raphael SOLAJES（フィリピン）

TSOU Rina（台湾）

YEO Siew Hua（シンガポール）

「タレント・トーキョー2015 オープン・キャンパス」
取材申込票

取材申込締切 11月19日（木曜日）17時 まで

FAX：03-5388-1327

あて先：生活文化局文化振興部企画調整課 担当：笠松 行

貴社名 _____

取材代表者氏名 _____

連絡先（携帯電話） _____

人 数 _____

人 _____

（ペン ・ ムービー ・ スチール）（該当に○）

※ 取材を希望するプログラムの□に✓をつけてください。

11月26日（木）13:00～14:00 「ワールド・セールスの役割と海外展開について」（仮）

11月26日（木）14:30～17:30 公開プレゼンテーション

※ご来場の際は、本票もしくはお名刺を受付でご提示ください。

※ご記入いただいた個人情報は、出欠の確認以外に使用することはありません。

※当日は、お申し込みプログラムの開始予定時刻5分前までに受付を済ませてください。

お申し込みをいただいても時間までにご来場されない場合、お席の準備ができないことがありますので、予めご了承ください。